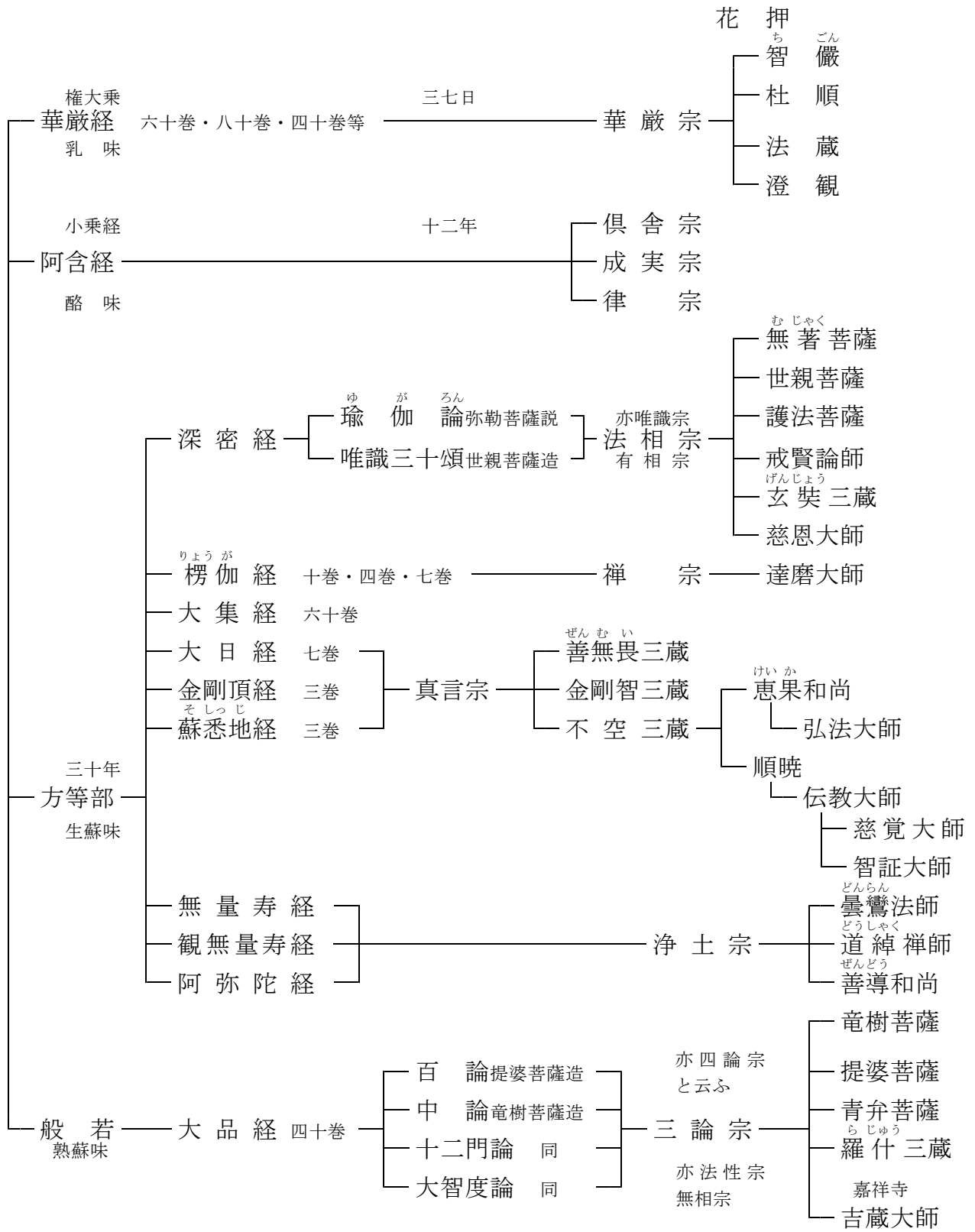


一代五時鶏図

弘安三年

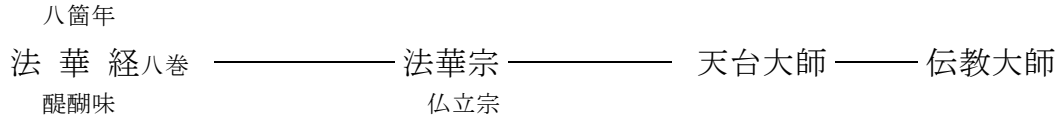
五九歳



無量義經一卷 「方便力を以て四十余年未だ真実を顕はさず」

「無量無辺不可思議阿僧祇劫を過ぐれども、終に無上菩提を成ずることを得ず。所以は何。菩提の大直道を知らざる故に、險徑を行くに留難多きがが故に」

「大直道を行くに留難無きがが故に」



「仏の所説の法に於て当に大信力を生ずべし。世尊の法は久しくして後要^{かなら}ず^{まさ}当に真実を説きたまふべし」

「正直に方便を捨て、但無上道を説く」

「今此の三界は皆是我が有なり。其の中の衆生は悉^{ことごと}く是吾が子なり。而も今此の処は諸の患難^{げんなん}多し。唯我一人のみ能く^よ救護^{くご}を為す。復教詔すと雖も而も信受せず」

一日一夜の説
大般涅槃經
同じく醍醐味

四十卷・或は三十六卷

- 依法不依人
- 依義不依語
- 依智不依識
- 依了義經不依不了義經